

“大切な花”を咲かせよう

保育所等訪問支援通信NO. 2-3



子どもの発達支援施設
つつじが崎学園

例年とは違い、雨・雨・雨…の夏。梅雨明けしたら、存分に夏の遊びを満喫して欲しいですね！そのあとには、運動会やスポーツの季節がやってきます。今回は“運動・スポーツの秋”を楽しめるよう、“運動(ボール遊び)”をテーマにお話しをしていきたいと思えます。体を動かすことや運動会の練習に、子ども達が楽しく向き合えるようにしてあげたいですね！遊びや練習の参考になれば嬉しいです。



おさらい！ “苦手、不器用に繋がる5つの要因”

- ① “両手がうまく使えない”
- ② “感覚の未発達”
- ③ “力のコントロールが苦手”
- ④ “ものを見る力が弱い”
- ⑤ “体のイメージが捉えにくい”



“ボール遊びが苦手”という姿には、上記の要因が複雑に絡んでいます。次は、それぞれのケースごとに対応法や遊びを確認してみましょう！



～ 色々な対応・遊びを試してみよう！～

ボールを目で追ってみよう①

ボールをネットなどに入れてから、天井からぶら下げます。※図①つるされたボールの位置に子どもを立たせ、ボールを前後に揺らします。(自分で出来るお子さんは自分でチャレンジ！) 同じ軌道で戻ってくるので、繰り返すことで受け取るタイミングが掴みやすくなります。

ボールを目で追ってみよう②

ボールを風呂敷などで包み、根元をゴムなどでとめます。※図②ボールの後ろを布がついていくことで軌道が分かり、布を掴むことができます。『キャッチ出来た！』という達成感に繋がります。

②



ボールをしっかり受け止めよう

ボールの空気を少し抜いてみます。少し抜けるとはじきに小さくなり、受け取りやすくなります。大きめのビーズクッションで行っても良いですね。

ボールを前にとぼしてみよう

力いっぱい投げすぎて、ボールから手を離すタイミングが遅れていることが考えられます。ゆっくりやさしく投げるとボールを離すタイミングを掴みやすいです。見本を見せ声を掛けてみましょう。

ボールを怖がっていませんか？

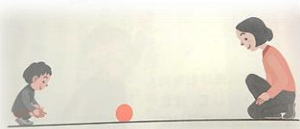
お子さん、以前にボールにぶつかって痛い思いをした経験はありませんか？やわらかめのボールや風船を使ってみましょう。風船が割れるのを嫌う場合もあるので臨機応変に使い分けましょう。

風船でキャッチボール & フランコ

まずはしっかりとボールを見続けられることが必要になります。その為、大きめの風船を使ってキャッチボールを行います。ゆっくりと飛んでくる風船をしっかりと見続けて受け取ることは、物を見続けるための良い練習になります。ブランコなどは、自分自身が動くこととなります。そうした状態で周りのものを見る方が、より長いあいだ見続けられる場合もあります。ブランコに乗りながら支援者の出す指の本数を当てるのも、楽しみながら練習できますね。

～ スモールステップで始める、キャッチボール ～

子どもと支援者が2m(様子で調整)ほど離れて向かい合う。①支援者は子どもに向かって、子どもの前で止まる程度の強さでボールを転がす。②子どもは支援者にボールを返す。



②まで出来たら、子どもと50cm程に近づく。③支援者は子どもの両腕部分にそっと乗せるようにし、受け取れるようにする。子どもからは自由に投げ返す。



動作のポイント

・投げる手と足は、違う方が前に出る！片手で投げるとき、投げる手と足が同じになると体のねじれが上手く使えないので、投げる手と反対の足を少し前に出すようにします。体をねじる動きを促すために、寝返りをしたり、ボールを両手で持って後ろの人に渡すなどの遊びを行っても良いですね。投げる前に、投げる手と反対の手を前に出してバランスを取らせてあげても良いと思えます。

参考書籍：「発達に気になる子への スモールステップではじめる生活動作の教え方」 鴨下賢一 著

～ おねがい ～

コロナウイルス感染症が再び広がりを見せています。私たち訪問支援員も万全を期して訪問したいと思います。園へ出向いた際は、私たちの健康状態を開示すると共に、園児・先生方の健康状態をお伺いさせていただきますが、ご了承ください。お互いに安全に訪問支援を実施出来るよう、ご協力よろしくお願い致します。



児童発達支援センター つつじが崎学園
地域支援事業部 保育所等訪問支援
〒400-0013
山梨県甲府市岩窪町614番地
Tel 055-251-7678
Fax 055-251-7679
Mail ooshiba@tutuji.or.jp
担当：吉岡かよ 大柴知子 田切美紀